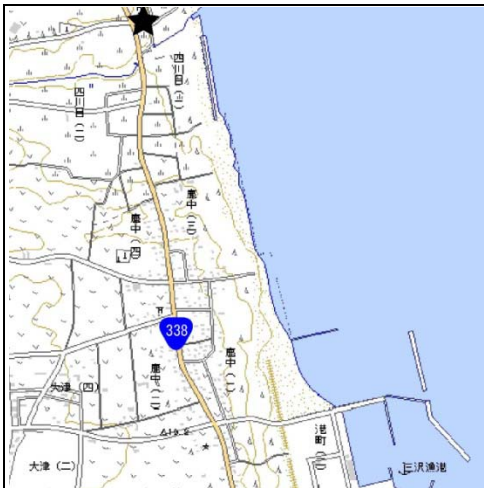


地区名	四川目(よかわめ)地区	所在	青森県三沢市四川目	石碑	青森 001
-----	-------------	----	-----------	----	--------

◆津波石碑の概要



- ◆対象津波：昭和三陸地震津波
- ◆類型：教訓型
- ◆碑文が伝えるもの

記録	予兆	避難	居住	美談
○	○			

- ◆建立場所：社寺（金毘羅神社）
- ◆対象津波の浸水線との関係：線上
- ◆東日本大震災の津波の浸水：線上
- ◆大きさ：高 330 cm幅 98 cm厚 98 cm
- ◆標高：8m

◆碑文の内容

(表面)

(裏面)

(表面)  
念記災嘯震  
地震海鳴りほら津浪

(裏面)  
震嘯災記念碑  
維持昭和八年三月三日午前二時三十分  
四十八秒突如トシテ強震アリ爾後半刻  
ニシテ洋上遙力大音響ヲ聞キ閃光ノ發  
スルヲ見ルヤ間髪ヲ容レサルニ海嘯ノ  
襲フ所ト爲ル怒濤天空ヲ摩シ摧ケテ地  
上ヲ濯フ一瞬多數ノ生命ヲ奪ヒ財産ヲ  
ラス阿鼻叫喚ノ聲隨所ニ充チ其慘状言  
語ニ絶ス事  
天聽ニ達シ畏クモ救恤ノ資ヲ賜フ  
皇恩無窮感激ニ堪ヘス聖旨ヲ奉戴シテ  
官民一致此間ニ處シ孜々トシテ之カ復  
興ニ懋メ其方途ヲ謬ラス全國ノ同情亦  
翕然トシテ聚リ以テ罹災民ヲシテ能ク  
其全キヲ得シメタルヲ欣フ被害地住民  
ハ永ク此災禍ヲ追想シ宜シク之カ警戒  
ト豫防ニ努ムルノ要有ラン于  
斯ニ東京朝日新聞社募集ノ義損金ヲ以  
テスル此記念碑建設ニ當リ青森縣知事  
多久安信標語ヲ記シ以テ深く銘戒セシ  
ムト云爾  
昭和八年十一月十一日  
八戸 高橋鐵工所作

①海嘯：潮津波の意。  
②救恤：困っている人に見舞いの金や品を与えて救うこと。  
③無窮：果てしないこと。無限。  
④孜々：熱心に努め励む様子。  
⑤翕然：多くのものが一つに集まり合う様子。  
⑥云爾：文の末尾に置いて、上文の内容を強調する語。「これに他ならぬ」の意味。

◆主な参考資料

卯花政孝(2002)「三陸沿岸の津波石碑・標石(墓石含む)青森県三沢市～岩手県岩泉町」『津波工学研究報告第19号』東北大学